



福祉と住環境を考える

ふくてっく

559-0034 大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATC・ITM 棟 5階 J-5-4
 TEL 06-6614-6800
 mail@fukutech.sakura.ne.jp http://fukutech.sakura.ne.jp/

2021年10月
 第100号

特定非営利活動法人

ふくてっく

～NPO法人 ふくてっく 定期総会報告～

世の中、新型コロナウイルスにより長きに亘り制限を受ける中、一年延期となった東京オリンピックが開催されました。コロナ禍で練習が制限され、体調管理も大変だった選手たちが最高のパフォーマンスを發揮して、日本は過去最高のメダル獲得（金メダル獲得も過去最高）となり多くの勇気と感動を与えてくれました。

その東京オリンピックが延長になった昨年8月の総会で、ふくてっくの活動がコロナ禍の影響により縮小している事を報告しました。あれから一年、コロナ禍を乗り越え、以前の様な世の中が戻っていると信じていましたが、いろいろな指標（医療体制）や感染状況（感染者数）を見る限り現実には厳しい状態です。昨年は恐々緊迫感を持って総会を開催しましたが、今年は感染対策にも慣れ、少しゆとりを持って無事に開催する事が出来ました。

ふくてっくの具体的な動きとしては、毎月の定例会開催が難しく、未だ学習会の予定もたたず、会員の交流の場が減っている事を大変残念に思っています。自粛生活が続く中、会員の近況を話し合う機会や懇親会も無くなり、会全体の「活気」が減少しているなど感じています。

早くみんなで笑って大声でしゃべられる日が来ることを願うばかりです。

各部活動に関してもコロナの影響はまだまだ大きく市民参加活動がメインの「つどい」の活動は先が見通せない状態です。

全会員が参加出来る活動が止まっている事は大変つらい状態となっています。

「東大阪部会」「こむねっと部会」は多少の制限、影響はあるものの感染対策を施して活動することが出来ています。緊急事態宣言発令の中、「東大阪部会」では役所と関わる業者、そして申請者の協力のもと検証活動を継続しています。「こむねっと部会」では児童養護をはじめ多様な施設の第三者評価を施設や利用者の多大なる協力があり、感染に注意しながら実施出来ています。

ただ、今後の感染状況によっては、令和3年度の部活動もこの様な状況が続くことが予測されます。

コロナ予防接種も進んでいますが、感染に対して決して万全というものではありません。これまで以上に自己管理の上、体調には気を付けましょう。

世の中、まだまだコロナの影響を受けている人、収束に向けて頑張っている人がたくさんいる事を忘れることなく、こんな状況でも対策をして活動が出来ることに「感謝」して令和3年度をしっかりと乗り切りたいと思います。

(小川 忠雄)



もしも、新型コロナウイルスが終息していたら・・・

こむねっと部会 ～ふくてっくの 28 年、こむねっと部会の 17 年をふりかえって～

こむねっと部会の歴史を振り返ってみました。

それは、ボランティア活動からコミュニティビジネスへの大きな転換期に始まり、現在に至っています。2003 年 7 月の理事会 ふくてっくも発足（1993 年）から 10 年を経て転換期に差し掛かった。

当時はふくてっくに、住宅改修部、木工部、研修部、設計部、そして福祉用具部があったが、前途は読めず、漸くボランティア活動からコミュニティビジネスへの転換が議論し始められた中で、平成 15-16 年度事業のなかに「おおさかすまいコムネット」の立ち上げが検討された。

2004 年 4 月の理事会記録に「こむねっと事業部」が登場している。

2005 年（平成 17 年） ふくてっくは NPO 法人格取得 6 月に評価機関認証を受ける（大阪府）

2005 年 10 月 第 1 回評価機関連絡会開催 座長岡本氏（GOWA）

2006 年 春 東大阪市から住宅改造費助成制度の適正化検証を受託

2007 年 5 月 評価機関連絡会代表幹事に中北が就任。現在に至る。

2009 年 9 月の理事会記録に「東大阪部会」が登場（こむねっと部会からの分離）。以降、会の財政が安定する。

2011 年 1 月 唐突にこむねっと部会解散宣言！ 7 月に再開 ロジックプランによる中長期計画策定。

2012 年 3 月 こむねっと部会ロジックモデルの中で、こむねっとの長期目標を掲げる。

新しい公共のパイオニアを自認する。こむねっとはそのまま高齢化（平均年齢 70 超）してゆくが、それでも、いつまでも（心と行動の）活性を失わない。
「老老市民活動」こそ、「朗朗支援社会」の魁けとなる！

そして福祉サービス第三者評価事業には、次の目標を掲げました。

年間に概ね 10 件以上の評価実績を達成し、事業採算性も確立する。

第三者評価事業はその後も低迷を続け、2019 年になってようやく目標水準を達成することになる。（グラフ①）

2013 年 福祉用具部の休部、研修部および住環境研究部会の個人的学習会への位置づけ変更を決定。

これら 3 部会を統合する部会創設が検討された。（後の「ふくてっくのつどい」）

こむねっとは、依然として低迷する第三者評価事業をあきらめることなく、その傍らで様々な団体との交流を図り、コミュニティビジネスを追求する。

2017 年から大阪 NPO センターと協働して「空家・空きビル活用による障がい者グループホーム開発事業」を模索。何度かの集会を開催するも軌道にのらず。

2018 年 1 月 ゆめ風基金代表幹事牧ロー二氏からの要請で、障がい者居住環境の減災支援活動（りすくのっく）の創設を模索。現在に至るも、ニーズを掘り起こすことができず停滞。

学生インターンシップの受入れが、同支援団体の要請で検討されたが頓挫。

2019 年から、ようやく第三者評価事業が軌道に乗り始める。（グラフ①）

2020 年 3 月 福祉サービス第三者評価の大半を独占していた大阪府社協が突然撤退。

同年から評価調査者養成研修等の取組は、大阪府福祉事業財団に移り、中北も講師に任ぜられる。

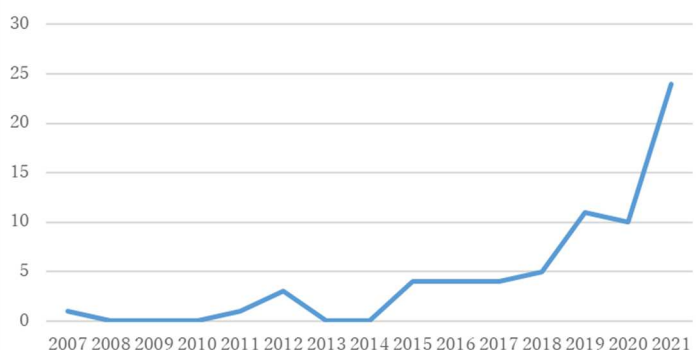
2021 年 3 月 市民生活サポートセンターが法人を解散。ふくてっくは最古参評価機関となる。

以上のように、「あわてず・あせらず・あきらめず」やってきたら、いつも間にか、今があります。

そして、それは約 10 年前に立てたロジックプランから決して逸脱していない。大事にしている根幹は、常に時代のニーズに即して自らを変革していく姿勢です。無為には続けないが、変わり続けることが大切です。一般に、市民活動の寿命はせいぜい 20 年と言われています。それは、メンバーの高齢化や新規メンバー獲得の失敗などと言われますが、本質はミッションの喪失あるいは完遂です。続けるには、常に、現状に満足せず（ひとところに固執せず）生まれ変わることが肝要。「あきらめなく、あすを観る」そんなふくてっくでありたい。沈着な自己肯定とポジティブな自己否定が欠かせません。

（中北 清）

ふくてっく第三者評価件数の推移（グラフ①）



東大阪部会

～東大阪のSDGs宣言・取組～

東大阪市におけるSDGsの取組をご紹介します。

東大阪市では本市の将来都市像である「つくる・つながる・ひびきあう-感動創造都市東大阪-」の実現に向け、「東大阪市第3次総合計画」を策定しています。この計画にSDGsを推進する旨を明記し、その達成に向けて「若者・子育て世代に選ばれるまちづくり」「高齢者が活躍するまちづくり」「人が集まり、活気あふれるまちづくり」の3つの柱に取り組むことにより、持続可能なまちづくりをめざしています。また、「東大阪市プラスチックごみゼロにトライ！宣言」「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）」の表明による使い捨てプラスチックの使用削減・脱炭素社会の実現に向けたさらなる低炭素化の取組や妊娠期から出産期、子育て期にわたる切れ目のない子育て支援・教育環境の充実による若者・子育て世代が安心して子育てができる環境づくりなど、SDGsの取組みを進めています。（東大阪市HP：市政たより5/15号より）

※「SDGs」については9頁に掲載



東大阪市で持続可能なまちづくりに取り組んでいる企業・団体のSDGs宣言・実施している取組をご紹介します。

■ 1件目：森河内東になるプラスチックの真空成型を生業にしているシンワパックス(株)のSDGs宣言です。

【今後も「環境問題」と「子供」について積極的に取り組んでいきたいと思っております。次世代の子供たちが豊かな自然の中でより良い生活を送れるよう、そしてモノづくりのまちである東大阪の製造業社として、未来を担う子供たちに対して日本が培ってきた技術力やモノづくりの楽しさ・その重要性を伝える事が使命だと考えます。そのためにSDGsという具体的な目標を、社員一丸となって取り組んでまいります。】今「未来を担う子どもたちの教育/モノづくり教室への協力や社会見学の受け入れなど、モノづくりの楽しさや仕事への意欲向上に努めてます/4・8・9」「地球の環境保護/限りある資源や自然環境を守るため、石油由来のプラスチックに代替されるプラスチックの検証を行うべく、大学や研究機関の生分解やバイオマスの協力をおこなっております。/7・9・11・13・14・15」等の取組をおこなっています。

■ 2件目：布施商店街連絡協議会のSDGs宣言です。

【夜市がスタートした時代と商店街の状況や顧客の状況がどんどん変化していています。今後も夜市を継続させるためにも変化が求められる時代になりました。古くからの慣例にとらわれず新しい取り組みを展開して今の時代に合致し永続的に開催できるように、地域の住民に喜んでもらい必要とされる夜市、商店街を運営していきます。】露店業者は入らず、商店街組合員が毎年模擬店を用意/的屋は入れずに商店街の事業者で屋台を出しています。アルバイトも自分たちで雇用した上で開催

して地域の雇用や露店の価格の維持、地域の住民とのふれあいを大切にしています。/8・9「昭和55年からスタート、布施商店街の未来への取組/地域活性、認知度アップによる持続可能な地域経済の創出を目指し商店街の開店時間の延長に貢献して利便性の向上と顧客の維持に役立っています。/11・17」等の取組をおこなっています。

■ 3件目：(一社) 東大阪青年会議所のSDGs宣言です。【これからも「ラグビーのまち」「ものづくりのまち」という東大阪の特性を活かしながら情熱をもってSDGs推進に取り組み、行政・市民・各種団体とスクラムを組んで地域を活性化し、明るい豊かな東大阪の実現をめざしていきます。】「車いすラグビー体験/年齢や障害の有無に関係なく、誰もが共に楽しめるスポーツとして、車いすラグビーを体験することで、交流を通じて意識のバリアフリー化の取り組みをしました。/4・5・8・12・17」「SDGsのPRブース/SDGsを楽しみながら身近に感じ知っていただくために、東大阪の特徴である①ラグビー②ものづくりの要素を加えたラグビーストラックアウトとオリジナルバッジ製作をしました。/3・4・10・11・17」



布施商店街の事業者で屋台を出しています。



ラグビーストラックアウト JCI 近畿地区協議会 HP より

7月学習会

～苔おじさんから学ぶ地球温暖化帽子！～

7月の学習会に苔おじさんこと泉原一弥氏をお招きして、苔について学びながら苔テラリウムを作成しました。

泉原氏は日本苔緑化研究所所長として苔の魅力を発信しながら大阪府知事委託の地球温暖化防止活動推進員もされています。

苔は森の奥など高湿度で光の弱い状態を好むので、苔テラリウムを栽培するにあたり苔が好む環境に似た状態を維持できるように蓋つきの容器を使用されています。苔には根が無く（非維管束植物という）成長速度は1年に数ミリ程度、虫も基本的にはつかない、栽培は直射日光に当たらない明るい室内に置き、適当に水を霧吹きで与える（2週間程度に1回だけ）と、お手軽に育てることができる。初めて聞くことや今回テラリウムで使う苔の種類についてお話をお聞きしました。

苔についての基礎知識を学んだ後、9センチ四方の庭を作成しました。日頃、造形に携わる会員が多いのでそれぞれ創造性に富んだ作品を夢中で作られていました。完成した後は全員の作品を集めて記念撮影しました。

最後に泉原氏が乗ってこられた「やぁね、こけちゃっかー」号を見学させていただきました。

泉原氏はワークショップの開催だけでなく、苔テラリウムのキット販売もされているとのこと。皆さん一人ひとりが作品に対するこだわりと愛着が湧いているように感じました。

（嘉指 奏輔）



苔テラリウム完成

温暖化帽子



完成後に記念撮影！この時だけマスクも外して。笑顔でパチリ!(^^)!



“やぁね、こけちゃっかー(屋根苔着車)”号

ふくてっくのつどい



ふくてっくの活動の中でコロナ禍の影響が一番受けている「つどい」の活動は、令和2年度は羽曳野市立幼稚園での活動のみとなりました。活動と言ってもこれまでの様に自由に木工をする子ども達を見守りながら、一緒に作品を作りあげるという形ではなく、材料提供と工具貸出のみの関わりとなりました。自由工作の場面では、これまでも一緒に見守り協力頂いていた幼稚園の先生方が担当してくれました。

ある程度、完成作品を想定して材料を提供したのですが、いざ完成した作品を見ると想像以上のバリエーションで作品が仕上がっていました。もうびっくり！感動してしまいました。

（小川 忠）



私は定年退職後ボランティア活動を始め、縁があって「ふくてっく」に入会しました。仲間たちと今後の活動について考えたり、準備したり、時には自宅ガレージに皆と集まり、材料づくりをおそく迄する事がありました。

人の為にと思ってしていたボランティアも結局は自分の生きがいにもなっていたと思います。今となつては、すべてが良い思い出になりました。仲間の皆様本当に有がとうございました。 /有馬 定夫

ふくてっく、いや福祉機器住宅研究会の発足当時・・・皆、社会を憂い、市民として、そしてものづくりを通じて何かできないかと、目を輝かしていた。やがて・・・NPOに改組しようとしたとき、ボランティアの限界を超えてどこへ行こうか？真剣に悩んだ時期もあった。一般に、市民活動の寿命はせいぜい20年と言われている。

ふくてっくはその限界をはるかに超えて、今がある。気が付けば、世の仕組みに追従して安定する営みがある。さすがのふくてっくも、いよいよクライマックスを迎えたのかと、ある種の達成感、そして寂しさを覚える。やはり・・・年を取ったのかな。10年先に、愛するふくてくの元気な姿を顧みたい。 /中北 清

100号は通過点！

これまででもやりたい事をみんなで考え、楽しんできたが、まだまだ挑戦!! もっと、みんなが笑顔になれる大きな活動と、でっかい“あそび”をやっちゃうよ!!! /小川 忠雄

ふくちゃん 萩野光



1997年ふくちゃん初登場
福祉から見たユーモアを
エスプリの味付が持ち味!!

100号記念

会員コラム



「迷コンビの活動」

20年前のある日のこと。僕と後藤さんで、ある高齢者の家へ、手すりを取り付けに行った。現場に到着すると、後藤さんが寸法を測り、僕がノコギリで手すりを切った。

ところが、手すりを取り付けようとしたら、5cm短かった。僕のうっかりミスだった。二人がワイワイ言っていると、当の本人が、ベッドから起き上がって、ヨタヨタと僕たちの所へ歩いてこられた。『これぞ、本人の自立支援だ!』と思った。 /杉浦 史郎

会報100号発刊おめでとうございます。

1994年5月14日に1号が発行されました。

当初の会報は「ハンディを支えるモノづくり通信」、1997年3月から「ほたる草」2002年NPO法人格の取得をうけ第49号から「ふくてっく」に変わり現在に至っています。

会報を久しぶりに見ると、2009年12月第77号に掲載されている「東京研修報告」東大阪部会・研修部会・こむねっと部会の研修だけでなく、夜行バスや地震のエピソードが懐かしく思い出されます。 /清水 麗子



私のモットーは「何事も疲れないよう程々に」です。仕事も家事も趣味もそんな感じで続けてきましたね。仕事は40半ばで辞めてしまいましたが、それでも、そこそこ幸せで楽しく暮らせています。ふくてっくは入会してから20年以上たっています。飽き性な私ですが相性が良かったのでしょうか、今まで迷うことなく続けてきました。

これからもよろしくをお願いします。

あっ、今の1番の関心事はウクレレですけどね、アロハ～
／和泉 秀子

「記憶に残るふくてっくの活動」

「ふくてっくのつどい」に参加させていただいています。2020年～2021年とほぼ木工活動が出来ない状況が続いていますが、写真などを振り返ってみますと楽しいことをいっぱい思い出します。お子さん、親御さん、施設の先生方の作品を持つての笑顔、最高です。また里山での木材の収集も楽しかったです。もっと楽しい事を作っていきたいと思います。早く活動の再開を願っています。
／苅田 保志

子供から高齢者、様々な世代や立場の人々と、みんなでわいわい楽しみながら関わることが、ふくてっくのいいところ。

(もちろん、お酒の役割は偉大ですが・・・)

亡くなった方も含め様々な出会いが、私にとって、貴重な財産です。今後、若い世代にいかにかつとタッチしていくのか？老いも若きも一緒に楽しみながら、知恵を出し合い活動していけたらいいなと思います。
／鎌田 伊津子



ほたる草 (2001年9月発行) に掲載のふくちゃん

「記憶に残るふくてっくの活動」

私は普段、定例会にしか参加ができていませんが、数回つどいの活動に参加した中で記憶に残っている活動は鶴見緑地公園にて行われた共生・共走リレーマラソンです。参加するにあたり四条畷の里山に必要な木材を集めに行き、当日は木工体験を手伝いながら、リレーマラソンに参加したことが会員メンバーとの交流だけではなく、小さい子から年配の方まで見知らぬ人とかかわりを持ってたことが疲労感と共に記憶に残っています。
／嘉指 泰輔

「印象に残ったふくてっくの活動」

ふくてっく入会前に、活動内容を知りたくてホームページを検索した時、一番興味を惹かれたのが、平成18年実施の「あなたは我慢できますか—女性の視点で災害時のトイレ問題を考える—」という調査でした。順番待ちの長さだけでなく、糞便が山積み、男女混合等々、想像を絶する酷さに愕然としました。

近年、毎年各地で大きな災害が発生していますが、その後どう改善されたのでしょうか。

是非、現状を知りたい、調査してほしい(したい)と思います。
／小椋 弘子

私が、ふくてっくに入会したのは20数年前、以前勤めていた会社から独立し、個人のフォトグラファーとして事務所を開設して間もなくの事です。

それまでに、杉浦さん・中北さん達と個人的に交流がありましたが、今の木工教室的な活動が始まった頃に活動参加した時の事。ふくてっくメンバーの人柄の良さで自分のやりたい事を無理をせずに楽しく活動している姿を見て、躊躇なく入会手続きを。

バブルを経験した企業戦士にとっては、とてつもなく人間らしく感じられました。

無理をせず 身の丈の活動は、現在のふくてっくにも引き継がれています。それも、当初の手弁当での住宅改修から、現在は東大阪部会や、第三者評価と社会が必要としていると云う事はずさな形でバージョンアップし続けています。

私は、人間味豊かなふくてっくと一生付き合っていきます。
／稲住 泰広



「記憶に残るふくてっくの活動」

当時、父は足の切断手術で入院中、実家のバリアフリーを考えていた所でした。

中北先生からNPO法人の前身「福祉と住環境を考える会」と言う会があるので来て勉強してみたらどうか？ とのお言葉が、きっかけで入会しました。

その後の勉強会の学びは実家の改修設計に大いに役立ち、その事が私の「福祉住環境コーディネーターになる本」の初回出版に至る事に成ったのです。

また、東大阪市からは、住宅改造の検証員になってほしいとの依頼も入り、「ふくてっく」で活動するきっかけとなり、それらの事は今でも鮮明に記憶に残っている出来事です。 /磯田 吉郎

「私の出生のエピソード」

広島原爆投下から七十六年、原爆投下は終戦を決定づける悲惨な出来事でした。わたしは今年で七十七歳、広島で生を受けました。幸い父方の実家に疎開し、難を逃れることができました。

墓参りでいつも思うことは、隣りに二十五歳の若さで戦死した叔父の墓標があり、昭和十八年二月一七日と標記されています。私の誕生日は同年一二月一七日です。偶然とは言え叔父の生まれ変わりではないかとの思いが墓参りの都度強く思われます。一日でも元気で長生きすることで若くして亡くなった叔父への供養と思っています。 ふくてっくに入会、今では有馬さん、杉浦さんに次ぐ古参となりましたが、一日でも元気で良き仲間のパワーを受け、迷惑をかけぬよう歩みたいと思います。 /後藤 秀樹

「老いと闘い」

大変ご無沙汰しております。皆さんと長くお会いしてないので近況報告とさせていただきます。

長年「介護職」と「稲住写真工房」の勤務を兼ねておりましたが、8年前に介護職を辞退し、今は撮影現場での「アシスタント」を頑張ってます。「パソコン」作業に悪戦苦闘！ 叱られながら学ばせてもらっています。撮影日には2万歩近い日もあり、現場でもまた、叱られながら緊張感の中、「機敏性」と「視線力」「体力」を鍛えられております。素晴らしい建築設計そして美しい風景と視野が広がってきます。

ただ、「脳力」と「体力」がいつまで続くのかと不安に思う今日この頃です。 /松田 美代子

「ある日のお客様との会話（番外編）」

客：ふくてっくと関わって何年になるの？

私：税理士開業が平成5年。

市社協の先輩から声を掛けてもらって会員になったのが平成6年。ですので、もう28年ですね。

客：関わってきてよかった

私：当時はNPOって何？という感じでした。

でも、関わって色々勉強になりました。ありがたいです。

早くコロナ収束して飲み会も復活してほしいです。

客：それが一番の願いだったりして。(爆笑)

/秋岡 安

「自己紹介」

昨月に会員になりました。宮城県仙台出身の東北人、普段は建設会社で医療福祉施設の建築士をやっているほぼ現役？です。大学時代に高齢者や障がい者施設計画の研究をする先生に従事しながら介護施設でボランティアしていました。ふくてっくのいろいろな活動に少しずつ溶け込んで、関西人っぽい東北人を目指し、今年度は第三者評価を学びお役に立ちたいと思います。関西弁はしゃべれませんがどうぞよろしく願います。 /小原 博之

「ふくてっく、遠足の思いで」

もう、15年以上前になるかなー、ようやく秋の気配が感じられる頃、「天王寺七坂めぐり」に参加しました。磯田会員の名ガイドで、それぞれの「坂」の由来にうなずきながら歴史散歩を楽しむことが出来ました。ついで、さくら満開の貝塚市・蕎原（そぶら）にある山に囲まれた「ほの字の里」を訪れました。ここは、蕎原集落にあった小学校が過疎のため廃校になった後、良質な温泉が発掘され、跡地を活用して温泉、バーベキュー、炭焼き体験、木工体験及び宿泊など山の自然を満喫できるプチ温泉リゾートに変身したところです。

他、近いところでは「灘五郷・酒蔵めぐり」や「富田林・寺内町」探訪など、それぞれ趣が異なり、楽しかった思い出です。いずれも、怖くて身近にせまってくる心配ごとがない時でした。一日も早く平常に戻り、また、皆さんと一緒に楽しい遠足に出かけたいものです。 /池端 一義

千葉から大阪に来て12年、ふくてっくに参加して10年になります。私、2021年は、赤ちゃん返りの年です！拍手！赤ちゃんはなんにでも興味を持ってハイハイから立って、歩いて、走ってと事を成し遂げていくのです！この順番は逆になりそうですが、気持ちも新たに、何にでも興味を持って成長していこうと思います！その記念すべき手習いとして、「フラダンス」を始めます。
いつの日か皆さまにご披露できる日がくるかもです！どうぞ期待！
／曾我部 千鶴美

人生70年と思って生きてきて、通り過ぎたのでは余生。のめり込むほどの趣味もなく、せめてもの罪滅ぼしか恩返しで、誰かの役に立つことができたらいいなあと考えてふくてっくの活動に参加したつもりでした。思いのほか、勉強はしなきゃいけないし、スケジュールには追われるし、むりやり現役時代に戻される感がなくもないのですが、そこは乗りかかった船、信頼できるお仲間のためにも、もう少し頑張ってみます。
／上田 牧人

学習会では様々な分野を学び、例会後の飲み会では美味しいものを食べながらメンバーの皆さまと交流できる事をととても楽しんでおります。

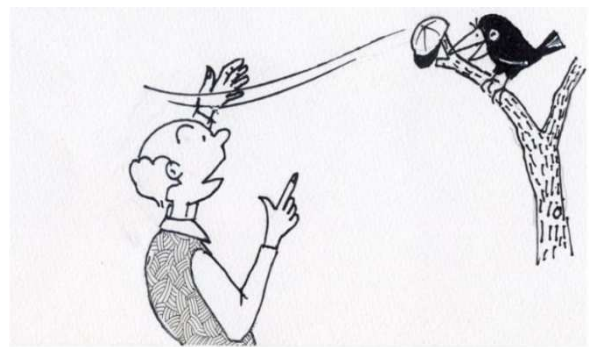
一方、こむねっと部会では、本業とは全く違う分野の第三者評価業務を経験し、自分の観察力、応用力が試され、報告書では語彙力の無さを痛感させられています。へこむ事も多いですがネバーギブアップ！の心でポチポチと習得していきたいと思えます。これからも未永くよろしくお祈いします。
／田代 加奈



「ふくてっくに参加して、驚いたこと」

まずは、会報100号発刊、おめでとうございます。私がふくてっくに参加して、10年以上が経ちました（スイマセン、初参加が何時だったか忘れてしまいました。）

初めて参加して驚いたことは、とにかく皆さんお元気！多くのメンバーが私より年上ですが、私よりずっとパワフルな事でした。それは今でも変わりがありません。その源を探っているのですが…未だ不明で私にとっては七不思議のひとつです。これからもその秘密を追って行きたいと思えますので皆さん、見捨てずに宜しくお祈いします。
／大塚 裕司



「これからトライしたいこと」

トライしたい事いろいろあったんです。

トライアスロンにチャレンジ！

スイムが苦手なのでフィットネスのプールで練習し海で1.5キロ泳ぎ切る目標をたて、さあこれからと思った時にコロナが来ました……

本を読もう！

ネットや漫画ばかりでは無く文字を読む本屋さんで数冊購入後 老眼が来ました……

休肝日を設けよう！ 火曜日は禁酒です。

嫁さんと娘のプレッシャーもあり継続中（トライかな？）です。
／立溝 和行

私が、ふくてっくの活動に参加させていただくようになって、早くも10年以上の月日がたちました。振り返ると、東大阪部会での検証活動をはじめとして木工教室での数々の活動、みんなで一つになって走るリレーマラソンなど、今や私の生活の一部となっていることがたくさんあります。また、今は、なかなか出来ない残念ですが、息抜きの乾杯やバーベキューも私の楽しみになっています！！

これからも未永いお付き合いの程、よろしくお祈いいたします。
／寺岡 春恵

「ふくてつくに入会して得たもの。捨てたもの。」
 私がふくてつくに入会して、たぶん10年以上になる
 と思いますが入会した経緯は覚えていません。
 ふくてつくはボランティア団体。

一方、私は視覚障害があり、ボランティアに世話を
 していただくほうが多い立場。

そんなわけで入会した経緯はわかりません。
 そんな中で、ありがたいと思っていることは、神戸ユ
 ニバーサルデザインフェアに会員の皆様「すばら
 んうどん」のボランティアスタッフとして毎年参加し
 てくださることです。

そして私がこの会で一番学んだことは、
 「気づき、仕組み、システム」と言う言葉に出会った
 ことです。これは中北さんが月例会の色々な報告の際
 にこの3つの言葉を使い色々な報告をされています。
 それに2、3年前から気がつきました。

神様は何か気がつかないと前に進ませてくれま
 せん。そのことに気がつきました。

何か気がつき、それを解決するために、仕組みを知
 り、システム化する。

何か気がついて工夫努力しいい結果を得る。
 「これ」だと思いました。

そんなわけで、捨てたものは「できない言い訳と限界」
 です。できない言い訳は、腰抜けの自分を隠し、限界
 は自分もしくは人間が勝手に決めたものだ気が
 ついたからです。 感謝。 /岡 道信

私がふくてつくに参加したのは、たぶん1999年の
 6月くらいではないかと思うのですが、その年の秋の
 合宿に参加したのを覚えています。

場所は定かではないのですが、岸和田方面の公共施設
 の様な所ではなかったかなと。

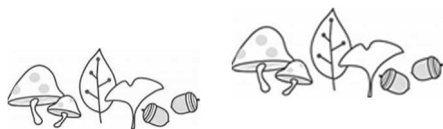
その時、たまたま相談のあった住宅改修の事例につ
 いて、活発に意見交換が行われた後しっかり宴会が行わ
 れたかどうか・・・

記憶が曖昧ですがきっと行われたのでしょう。
 そのあとも森ノ宮の青少年会館（？多分）や、なぜか
 姫路にある大阪市の施設の塩楽荘での合宿もぼんや
 り思い出します。

最初の頃は「泊りで話し合うのが好きな人たちだ
 なあ」という印象でしたが、

私、染められてしまいましたか？ /山本 尚子

はじまりは、ふくてつく開催の砂川恵里歌さんのコ
 ンサートへ誘ってもらって、「一粒の種」を聴いた時
 です。私の趣味は種をまくこと、松ぼっくりに、は
 じまり、椿、桜、アーモンド、藤、パパイヤに柚子な
 ど他にもいろいろありますが、なぜか花が咲くまで
 は至りません。それでも落葉し新芽が出て少しずつ
 成長するのが楽しくて・・・。「桃栗3年柿8年、柚
 子の大馬鹿18年」とか、気長にいつか花が咲くこ
 とを楽しみにしています。 /春岡 須磨子





【 SDGs 】

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された。

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。（外務省HPより）

目標	各目標のテーマ	目標	各目標のテーマ
目標1	貧困をなくそう	目標10	人や国の不平等をなくそう
目標2	飢餓をゼロに	目標11	住み続けられるまちづくりを
目標3	すべての人に健康と福祉を	目標12	つくる責任 つかう責任
目標4	質の高い教育をみんなに	目標13	気候変動に具体的な対策を
目標5	ジェンダー平等を実現しよう	目標14	海の豊かさを守ろう
目標6	安全な水とトイレを世界中に	目標15	陸の豊かさを守ろう
目標7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	目標16	平和と公正をすべての人に
目標8	働きがいも 経済成長も	目標17	パートナーシップで目標を達成しよう
目標9	産業と技術革新の基盤をつくろう		

■ R3 年 2 月以降 学習会

- 2月 「きぼうのつばさ Vol.51」視聴
パンジーメディアDVDより
- 3月 学習会なし
- 4月 「天王寺北エリアのお散歩
～桜と歴史に思いを馳せて～」
- 5月、6月
定例会・学習会中止
(緊急事態宣言下、
定例会会場の一時閉鎖)
- 7月 苔おじさんから学ぶ温暖化防止
講師：大阪府知事委託
地球温暖化防止活動推進員
日本苔緑化研究所所長 泉原一弥
- 8月 総会 学習会なし
- 9月 ひとりも取り残さないために
～インクルーシブ防災①～
「避難編」
DVD鑑賞 NHK厚生文化事業団制作
- 10月 ひとりも取り残さないために
～インクルーシブ防災②～
「避難生活編」
DVD鑑賞 NHK厚生文化事業団制作

■ R3 年 定例会・学習会予定

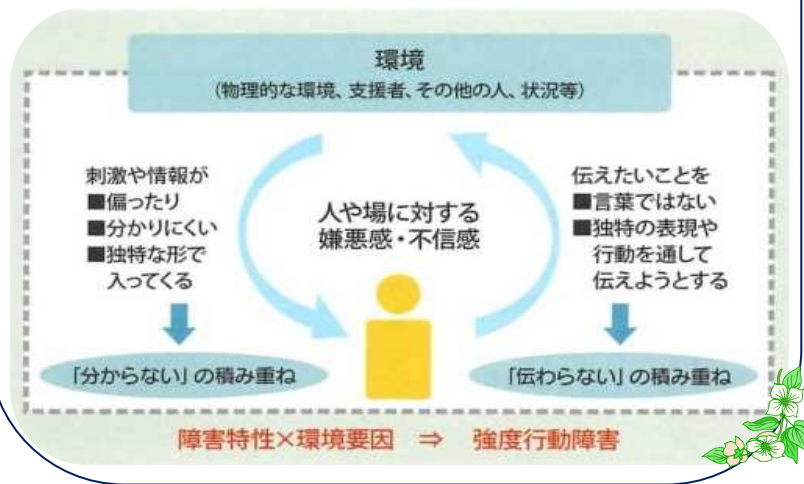
- 11月6日(土) 13:30～17:00 頃
会 場：住まい情報センター
(天神筋橋六丁目)
学習会：未定
- 12月4日(土) 13:30～17:00 頃
会 場：住まい情報センター
学習会：未定

ことば・コトバ

【 強度行動障害 】

強度行動障害とは、「精神科的な診断として定義される群とは異なり、直接的他害（噛み付き、頭突き等）や、間接的他害（睡眠の乱れ、同一性の保持等）、自傷行為等が通常考えられない頻度と形式で出現し、その養育環境では著しい処遇の困難な者をいう」と定義されています。強度行動障害として対応が必要となる年代は、思春期後半から 40 歳頃に集中しています。生まれた時からというわけではなく、中学生、高校の時期に行動障害が激しくなっているケースが多く、中学卒業後に比較的落ち着くケースもあります。

強度行動障害は周囲を「困らせる」行動ではなく、本人が「困っている」ことのサインです。（厚生労働省 HP より）



…事務局より…

★ 理事会・総会 開催状況

- ・令和3年2月6日
定例理事会：上半期の活動総括ほか
- ・令和3年8月7日
定例理事会・決算理事会
- ・令和3年8月7日
総会

NPO 法人ふくてっくとは・・・

ふくてっくには、建築・医療・福祉分野の有資格その他、多岐に亘る専門職が参加しており、お互いの専門領域における見識と誇りを大切にしつつ、相互の研鑽しあう機会を育てています。キーワードは「生活者の視点、当たり前の感覚です。」是非あなたも仲間に入って、自らの人生を耕しませんか。一度、定例会（原則：毎月第1土曜日、13:30～）にご参加ください。定例会では、会員の活動報告や講師を招いての学習会等を行っています。正会員以外の方が定例会に参加される場合は、参加費 500 円です。

*会費：入会金/無料

：年会費/正会員 5,000 円、学生会員 1,000 円、通信会員 500 円

*連絡先：TEL 06-6614-6800

ホームページ <http://fukutech.sakura.ne.jp/>

メールアドレス mail@fukutech.sakura.ne.jp

